

| 質問 順番 | 議席 番号 | 議員氏名 | 質問事項及びその要旨 | 答弁者 |
|----------|----------|------|--|-----|
| 1 | 10 | 酒井信幸 | <p>コロナ禍における避難所運営等について</p> <p>1. コロナ禍における避難所開設について</p> <p>(1) 市政報告で、一般避難者と体調不良者の避難スペースや動線を分ける必要があるため、対応可能な12施設を必要に応じて開設することにしたとの報告があったが、対応可能な施設はほかにもまだあるのではないかと伺う。</p> <p>(2) これまでの12施設の収容人数は、8,310名であったが、コロナ禍の中でパーティション等の対策を講じた場合、避難者の収容人数は何名になるのか伺う。</p> <p>(3) 今後、様々な災害が起こった場合、これまでの指定避難所へは避難できないのか伺う。</p> <p>(4) コロナ禍において開設する12指定避難所については、どのように周知を行っているのか伺う。</p> <p>(5) 8月23日に岩沼中学校体育館で、近隣の住民で組織する「初動期避難所運営協議会」が開催した、コロナ禍における避難所開設訓練に参加した。その時に、避難所の運営を担当する市職員8名が参加したが、その他の11避難施設の運営を担当する市職員を含む全ての市職員は、同様の訓練等を行っているのか伺う。</p> <p>(6) 6月の第4回定例会で、ホテルの利用について質問した際に、「災害時のホテルの利用についてというところですが、これにつきましては、避難生活が長期間となる場合にということで、現在、検討している。」、また、「連携の在り方として協定を結ぶのがいいのか、その辺も含めまして検討している。」と答弁された。その後、市内のホテルとの協定の進捗はどのようになっているのか伺う。</p> <p>2. 車中避難（車中泊）について</p> <p>(1) 6月の第4回定例会で、車中泊についても質問し、「指定避難所の駐車場において車中泊をされる方、すなわち受付をきちんとしていただければ、通常の避難者と同じような対応をさせていただくというところで、大きくはそのような考え方で、細かい部分につきましては、今後いろいろ検討して</p> | 市長 |

| | | | | |
|-----|----|------|---|-----------|
| (続) | 10 | 酒井信幸 | <p>いきたい。」との答弁があった。このことについて早急に対応しなければならないと思うが、その後、どのように検討したのか伺う。</p> <p>(2) 現在、車中避難（車中泊）ができる指定避難所は何か所あるのか伺う。</p> <p>(3) 車中避難（車中泊）ができる場所を増やすことは考えていないのか伺う。</p> <p>3. 新たな避難所の設置について</p> <p>(1) 先日、市長は、新型コロナウイルス感染症の対策も大事だが、災害に対する避難等の対策も重要だと話されていた。コロナ禍の中で避難所開設を12施設にしたことで、収容人数が少なくなっている。民間の施設を利用する考えはないのか伺う。</p> | 市長 |
| 2 | 15 | 長田忠広 | <p>新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>1. 市独自支援について</p> <p>(1) これまでの支援制度について、現時点での総括を伺う。</p> <p>(2) 保育所・幼稚園・児童クラブなどの児童福祉施設職員に支援金（慰労金）制度を設けてはどうか伺う。</p> <p>(3) 発熱外来診療体制整備の進捗状況を伺う。</p> <p>(4) 文化芸術の関係者や団体に対して、会場費の免除や支援金の支給などの対策をしてはどうか伺う。</p> <p>2. 季節性インフルエンザ予防接種について</p> <p>(1) 当市は今年度65歳以上の高齢者の予防接種費用を無料にした。そこで、ワクチンの確保などの課題があるが、当市の対応を伺う。</p> <p>(2) 高齢者等が安心して予防接種ができるよう、医師会と連携し、予防接種専用の会場を設けるなどの対策を講じてはどうか伺う。</p> <p>(3) 乳幼児や小学生など2度予防接種を受ける年齢層に対して、インフルエンザ予防接種助成制度を設けてはどうか伺う。</p> <p>3. 福祉施設におけるクラスター発生の防止について</p> <p>(1) 高齢者施設における新型コロナウイルス感染者の発生に備えた対応を伺う。</p> <p>4. 児童虐待について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、学校等の休業や外出自粛が継続する中で、子どもの見守り機会が減少し、児童虐待等のリスクが高</p> | 市長 教育長 |

| | | | | |
|-----|-----|---------|--|------------|
| (続) | 1 5 | 長 田 忠 広 | <p>まっている。そこで、当市の現状と課題を伺う。</p> <p>(2) 厚生労働省は、支援が必要な子どもや家庭へ適切に対応するため、支援対象児童等の定期的な状況把握を行うとともに、様々な地域のネットワークを活用した見守り体制の強化を図る、「子どもの見守り強化アクションプラン」の実施を打ち出した。そこで、当市の取組を伺う。</p> | 市 長 教育長 |
| | | | <p>市営住宅について</p> <p>1. 連帯保証人について</p> <p>(1) 平成 30 年 3 月 30 日付け国土交通省住宅局長通知（「公営住宅管理標準条例（案）について」の改正について）について</p> <p>① 通知では、「単身高齢者の増加等を踏まえ、今後、公営住宅の入居に際し、保証人を確保することが一層困難になることが懸念されるところ、保証人を確保できないために公営住宅に入居できないといった事態が生じることのないよう、保証人に関する規定を削除する」とある。そこで、この通知を受けての当市の対応を伺う。</p> <p>② 県営住宅は、生活保護世帯に限って連帯保証人の猶予ができるとしている。そこで、市営住宅においても、生活保護世帯や高齢者世帯などは、猶予措置を行ってはどうか伺う。</p> <p>③ 国土交通省は、家賃債務保証の業務の適正化を図るために、家賃債務保証業者の登録制度を創設した。そこで、家賃債務保証業者等の機関保証の活用を検討してはどうか伺う。</p> <p>2. 住民の高齢化対応について</p> <p>(1) 市営住宅における高齢者（65 歳以上）のみの世帯の割合を伺う。</p> <p>(2) 市営住宅における高齢者見守り体制について伺う。</p> <p>(3) 年次計画で A E D を設置してはどうか伺う。</p> <p>3. 市営住宅（災害公営住宅を除く）の住環境整備について</p> <p>(1) 手すりの設置など、バリアフリー対策の現状を伺う。</p> <p>(2) 市営住宅敷地内の広場や隣接する公園に、健康遊具を設置してはどうか伺う。</p> <p>(3) 住民にアンケート調査を実施し、住環境整備の計画を立ててはどうか伺う。</p> | 市 長 |

| | | | | |
|---|---|-------|---|-----------|
| 3 | 4 | 田村 宏 | <p><u>懲罰議決取消等訴訟の上告審について</u></p> <p>1. なぜ、最高裁に上告したのかについて</p> <p>(1) 議会で上告決議が議決されたからか。議会の圧力に負けたからか。</p> <p>(2) 傍観的立場だったのに当事者になったのではないか。</p> <p>(3) 懲罰を科した側に無法と不法があったとは思わなかったのか。</p> <p>(4) 最高裁で覆るかもしれないと期待したのはどの点か。また、顧問弁護士はどのような説明をしていたのか。</p> <p>2. 懲罰を科した議員の側に、係争中だという自覚がないのではないかについて</p> <p>(1) 市長が上告をしたのだという思いが議員側にあり、自覚がないのではないか。</p> <p>3. 顧問弁護士との契約について</p> <p>(1) 基本的な契約内容は何か。また、顧問料の年額はいくらか。</p> <p>(2) 訴訟が提起されれば、別枠で支払うのか。</p> <p>(3) 一審、控訴審、上告審での支払いはそれぞれいくらか。</p> <p>4. 上告したことについて</p> <p>(1) 上告はやめて、仙台高裁の判決に従うべきではなかったか。</p> <p>(2) 仙台高裁の裁判を始めるべきだとした判決のどこが不服だったのか。</p> <p>(3) 裁判が始まると議会としては、好ましくない、または不都合があると思ったのか。</p> <p>(4) 不都合だと思う議会多数派に市長が付度して上告したのか。</p> <p>5. 懲罰濫用の過程で懲罰の強化と議員報酬カットも導入された事について</p> <p>(1) 議員報酬とは議員という身分に対する対価と考えているがどうか。</p> <p>(2) 懲罰で報酬カットをするという条例は違法ではないか。</p> <p>(3) 報酬カットは、最大 25%が限度とされているのではないか。</p> | 市長 |
| 4 | 9 | 布田 恵美 | <p><u>コロナ禍における避難所運営と情報伝達について</u></p> <p>1. 市政報告の中で「コロナ禍における避難所では、一般避難者と体調不良者で避難スペースや動線を分</p> | 市長 教育長 |

| | | | | |
|--|----------|----------------|---|--------------------|
| <p>(続)</p> | <p>9</p> | <p>布 田 恵 美</p> | <p>ける必要があることから、その対応が可能な学校をはじめ12施設を必要に応じて開設することにいたしました」とある。7月12日開催のコロナ禍における避難所開設訓練に防災士の一人として参加し、新しい生活様式の中では避難所運営にも多くの手が必要となることを感じた。</p> <p>(1) 市のホームページに掲載されている従来の指定避難所一覧によると、25か所に11,440人の収容を掲げている。</p> <p>① これまで見込んでいた収容人数をどのように受け入れていくのか。</p> <p>② 避難所開設のスタッフは、どのように手配するのか。</p> <p>③ これまで以上に避難者同士のスペースを取っての避難所開設であり、定員も従来に比べて少なくなるであろうことや、その密集や混雑を避けるためにも迅速に細やかな情報発信も求められる。その点については、どのように対応して行くのか。</p> <p>④ ホームページだけではなく、SNSでの災害情報発信も本腰を入れて取り組むべきではないのか。</p> <p>2. 令和元年第4回定例会一般質問において、福祉避難所の在り方について取り上げた。当時の答弁では、「避難行動要支援者避難支援プランを策定し、皆様の御協力をいただこうとしているところでございます。そして、地域にいらっしゃる、その支援を必要としている皆さんの名簿のほうも御理解をいただいた上で作成し始めたところです」とあった。その後、どのように進んでいるのか伺う。</p> <p>3. 同じく、子育て世代への情報伝達として、昨年7月に公開された「いわぬま iキッズアプリ」へ、防災や減災につながる情報を含める、またはリンクすることを提案し、「防災に対する事前の備えですとか、そういったことの情報載せることは可能ですし、内容なども含めて今後検討したい」と答弁されていた。その後、どのように進んでいるのか伺う。</p> | <p>市 長 教育長</p> |
| <p>岩沼市のさらなる発展について</p> <p>1. 岩沼市は、来年市制施行50周年を迎える。大きな節目であり、私たち市民にとっても、また様々な場で岩沼市に関わってきた方々にとっても格別な思い</p> | | | <p>市 長 教育長</p> | |

| | | | | |
|-----|---|-------|--|-----------|
| (続) | 9 | 布田 恵美 | <p>を持つ。最近では、朝日新聞出版が発行する週刊誌「AERA (アエラ)」8月10日・17日号合併増大号の特集「コロナ時代の移住先ランキング」の「後悔しない『コロナ移住先』ランキング」で、岩沼市が北海道・東北地区で1位に選ばれた。</p> <p>(1) 「医療体制が充実した街」・「災害対応や行政サービスが期待できる街」の指標が高い数値となっているが、どのように受け止めているのか。</p> <p>(2) 50周年にちなんだイベントはどのように考えているのか。</p> <p>① 文化面ではどうか。</p> <p>② 芸術面ではどうか。</p> <p>③ スポーツ面ではどうか。</p> <p>(3) 現在、コロナ禍の中で予定されていた中学生の海外派遣事業、岩沼市民文化芸術祭、市長杯総合スポーツ大会及びいわぬまエアポートマラソンなどが中止となっている。趣味や創作活動、市民活動にも制約があり、市民の皆さんからは、気持ちが塞ぎがちだという声も多く聞かれる。そこで、自分たちが暮らすまちに、誇りとより深い愛情を持てるような取組として、「(仮称)岩沼マスター」を創設してはどうか。幅広い年代の多くの市民の皆さんに参加していただき、市民一人一人が市民大使として、岩沼の魅力を再確認しながら発信する、そんな心づもりを持ちながら暮らせる岩沼を目指してはどうか。</p> | 市長 教育長 |
| 5 | 5 | 佐藤 剛太 | <p>西部3地区(志賀・小川・長岡)における地域課題について</p> <p>1. 県道岩沼蔵王線について</p> <p>令和元年第3回定例会において、県道岩沼蔵王線の開通後の課題について一般質問を行ったが、その後の市の取組を伺う。</p> <p>(1) 志賀姥ヶ懐トンネルが開通して8か月が経過した。交通量が大幅に増加したと感じるが、一日当たりの交通量について伺う。</p> <p>(2) 交通量の増加に対し、市が行った交通安全等の取組について</p> <p>① 増加した車両に対する取組について伺う。</p> <p>② 自転車、歩行者に対する取組について伺う。</p> <p>③ 今後、菅生スマートICの整備、田中林道の槻木方面の拡幅、市道朝日2号線開通などによ</p> | 市長 |

| | | | | |
|------------|----------|--------------|---|-----------|
| <p>(続)</p> | <p>5</p> | <p>佐藤 剛太</p> | <p>り、さらに交通量が増加することが予測されるが、今後の交通安全対策について伺う。</p> <p>(3) 旧県道（市道一の坂線）の管理について</p> <p>① 県から市が移管を受ける時期について伺う。</p> <p>② 今後の管理について伺う。</p> <p>2. 志賀沢川について</p> <p>(1) 台風19号被害による志賀沢川の浚渫工事の実施計画について</p> <p>① 岩沼市の管理区間について伺う。</p> <p>② 宮城県の管理区間について伺う。</p> <p>(2) 今後の整備計画について</p> <p>① 平成26年度に県が策定した五間堀川圏域河川整備計画において、五間堀川圏域(五間堀川、志賀沢川)の河川整備は、今後30年間で計画対象期間とするとされているが、現在までの五間堀川と志賀沢川の整備状況と進捗率を伺う。</p> <p>② 今後の志賀沢川の整備計画、時期について伺う。</p> <p>3. 仙台空港について</p> <p>(1) 仙台空港の所在地としてのメリットについて</p> <p>① 岩沼市のメリットを伺う。</p> <p>② 岩沼市民のメリットを伺う。</p> <p>③ 今後、運用時間を延長した場合の市としてのメリットとは何か伺う。</p> <p>(2) 8月4日に西部3地区(志賀・小川・長岡)の住民を対象に開催した仙台空港の運用時間延長に係る説明会において、宮城県が示した「運用時間延長における騒音対策(案)」に係る市の見解について</p> <p>① 優先滑走路方式による騒音低減対策について伺う。</p> <p>② 離着陸回数制限による騒音低減対策について伺う。</p> <p>③ 西側経路の活用による騒音域の縮小対策について伺う。</p> <p>④ 宮城県が示した「運用時間延長における騒音対策(案)」に任意の防音対策範囲として名取市では北目地区が含まれたが、近隣には小川地区が位置している。小川地区、そして西部3地区(志賀・小川・長岡)の防音対策について、見解を伺う。</p> | <p>市長</p> |
|------------|----------|--------------|---|-----------|

| | | | | |
|-----|---|-------|---|----|
| (続) | 5 | 佐藤 剛太 | <p>(3) 地域振興策に係る市の考えについて</p> <p>① 西部3地区(志賀・小川・長岡)における地域振興・環境整備策について伺う。</p> <p>② 「空港と共に発展する地域づくり」の実現について、見解を伺う。</p> | 市長 |
| 6 | 8 | 佐藤 淳一 | <p><u>仙台空港 24 時間運用構想と地域振興・周辺環境整備について</u></p> <p>1. 空港機能拡張(滑走路延長、運用時間延長)等に係る、仙台空港、宮城県(県内他自治体含む)、名取市、そして本市のこれまでの関係について</p> <p>(1) 宮城県と本市の関係と地域振興、周辺環境整備について</p> <p>① 空港周辺地域から県に要望されていた事業等の実現について</p> <p>過去の空港機能強化の際に県と市、また周辺地域と取り交わした、県が実施すべき事業として約束された内容の進捗率はどの程度で、どのように考えるか伺う。</p> <p>② 県からの周辺地域環境整備基金とその事業について</p> <p>ア 周辺地域環境整備基金の収支状況について</p> <p>イ 活用した主な事業について</p> <p>ウ 今後の基金の活用と周辺地域環境整備の在り方・考え方について</p> <p>③ 地域振興について</p> <p>ア 過去3度の空港機能拡張時に本市が県と合意し行ってきた地域振興について伺う。</p> <p>イ 同じ空港周辺地域として比較した場合、名取市のアクセス鉄道沿線と本市の空港周辺地域では地域の発展に大きな差があるように感じるが、どのように分析しているのか伺う。</p> <p>④ 今後の交渉で本市の要望が受け入れられ、空港の24時間運用に合意する場合、協力に関する覚書のような合意文書を交わすことになるのか。また、その際の合意文書(内容)は何によって担保されることになるのか伺う。</p> <p>(2) 仙台空港、県(他自治体含む)、本市の関係について</p> <p>① 空港機能拡張での地域振興・周辺環境整備への対応は、県と市がその多くを対応する形になっているが、仙台国際空港株式会社の役割や責</p> | 市長 |

| | | | | |
|------------|----------|--------------|--|-----------|
| <p>(続)</p> | <p>8</p> | <p>佐藤 淳一</p> | <p>任については、どのような位置付けなのか、見解を伺う。</p> <p>② 空港は広域で利活用する公共施設としての性格が非常に強いものとする。しかし、他の公共施設のようにその便益(利益)を受ける関係団体(自治体等)が利用に見合った受益者負担をしていないのではないかと考える。市民が考えるこの不公平感をどのように解消していくのかが、今後の交渉を左右する一つのポイントとみているが、この考え方についてどのような見解か伺う。</p> <p>2. 仙台空港 24 時間運用への本市の考え方と対応について</p> <p>(1) 24 時間運用によって、本市にはどのようなメリット、デメリットが生じるのか、また現状でどちらのほうが大きいと想定しているのか、見解を伺う。</p> <p>(2) 24 時間運用について、市民がどのような考えを有していると分析しているのか。</p> <p>(3) 今後市民の意見とどのように向き合い、県が進める構想の合意形成に協力をしていくのか。</p> <p>3. 空港 24 時間運用と地域振興、周辺環境整備について</p> <p>(1) 市が考えている地域振興策と周辺環境整備について</p> <p>① 地域振興策の地域振興とはどのようなものと考えているのか。</p> <p>② 周辺環境整備の周辺とはどの範囲と想定しているのか。</p> <p>③ 地域振興策と周辺環境整備への県、そして空港からの協力について、どのように捉えているのか。</p> <p>④ 地域の要望、議会での議論・提案を交渉にどのように反映していくのか。</p> <p>(2) 法定外普通税について</p> <p>① 導入について検討は進んでいるのか。</p> <p>(3) 新たな地域振興策、周辺環境整備について</p> <p>① 地域振興策について</p> <p>② 周辺環境整備について</p> <p>③ 新たな取組について</p> | <p>市長</p> |
|------------|----------|--------------|--|-----------|

| | | | | |
|---|----|---------|---|-----|
| 7 | 2 | 寒風澤 敦 司 | <p>岩沼市土砂災害ハザードマップについて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 岩沼市土砂災害ハザードマップが令和2年3月に作成されているが、どのような形で配布しているのか伺う。 2. 土砂災害警戒区域や土砂特別警戒区域の指定区域における土石流や急傾斜地崩壊のおそれがある箇所数及び災害対策について伺う。 3. 災害や避難所開設等の情報発信についての取組について <ol style="list-style-type: none"> (1) 防災ラジオについて（台数等） (2) 防災行政無線屋外拡声子局の設置数及び試験放送の頻度について (3) 広報車等による周知（台数等）について (4) 携帯電話への発信（エリアメール）について (5) 市役所サブスタジオの利用について 4. 災害時の体制について <ol style="list-style-type: none"> (1) 災害時は、行政だけの体制ではなく、連携している関係機関や民間団体も重要な役割を担っているが、現在の災害協定の締結状況について伺う。 5. 避難道について <ol style="list-style-type: none"> (1) 土砂災害警戒区域から指定避難所・指定緊急避難所等に避難する際、県道仙台岩沼線を通行することになるが、道路が冠水し、これまで幾度となく通行ができずスムーズな避難ができなかったことを踏まえ、今後の対策や改善を考えているのか伺う。 (2) 上記同様、市道二木大通線の対策や改善を考えているのか伺う。 | 市 長 |
| 8 | 17 | 佐 藤 一 郎 | <p>新型コロナウイルス感染症に係る医療体制づくりについて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新型コロナウイルス感染症は、インフルエンザとの区別が難しいことも相まって、秋から冬にかけて感染拡大が予想される。市政報告で、「市内救急指定病院から市医師会の協力の下、発熱外来診療体制を整備するため、市民会館駐車場の一部を使用した旨の要請があり、これを認めることといたしました。今後の感染拡大を防止し、地域医療体制の充実を図るため、早期に発熱外来を設置できるよう積極的に支援してまいります。」とあったが、内容について伺う。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 発熱外来は、どのような症状の患者を受け入れ | 市 長 |

| | | | | |
|--|-----------|--------------|--|-----------|
| <p>(続)</p> | <p>17</p> | <p>佐藤 一郎</p> | <p>るのか伺う。</p> <p>(2) 当該救急指定病院には、2市2町で補助金を交付しているが、患者の受入体制は、どのようになるのか伺う。</p> <p>(3) 発熱外来の設置に伴う、2市2町の補助金の負担割を考えているのか伺う。</p> <p>(4) 発熱外来の設置は、医療従事者に係るもののほか、医療機器、管理運営費など多額の費用を要し、国、県の助成がなければ運営が厳しいと思うが、見通しについて伺う。</p> <p>2. せきや倦怠感などの症状での、救急車の搬送依頼があった場合の対応について伺う。</p> <p>3. 令和2年第4回定例会で、「新型コロナウイルス感染症は、秋、冬にかけてインフルエンザと間違いやすい症状であり、PCR検査や医療体制を急ぐべきである。」と質問した。「第2波、第3波に備え、秋口辺りまでに何とか体制を整えたい。」との答弁があったが、その後について伺う。</p> <p>4. PCR検査センターについて、「2市2町管内でできる体制づくりを県に要望したいと考える。」とあったが、その後について伺う。</p> | <p>市長</p> |
| <p>新型コロナウイルス感染症拡大に対する市の支援状況について</p> | | | <p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、全国的に経済が低迷している中、市の経済支援対策について伺う。</p> <p>1. 地域活性化のため、割増商品券を2回発行しているが、現在までの実績と効果について伺う。</p> <p>2. 事業継続応援給付金の申請状況について</p> <p>(1) 申請件数、申請金額及び業種内容について伺う。</p> <p>3. セーフティネット保証などに対する保証料の補助申請状況について</p> <p>(1) 申請件数、申請金額及び業種内容について伺う。</p> <p>4. 業種、企業規模によって売上げに差があると思われる。実態把握のためにアンケート調査などをする必要があると思うが、どのように考えているのか伺う。</p> <p>5. コロナ禍により、今後の経済が一段と厳しくなると思われる。今後の対策について、どのように考えていくのか、見解を伺う。</p> <p>6. 地方創生臨時交付金等の財源がなくなった場合、財源をどのように確保するのか、見解を伺う。</p> | <p>市長</p> |

| | | | | |
|---|---|---------|--|--------------|
| 9 | 3 | 高 梨 明 美 | <p>教育支援について</p> <p>1. 「GIGAスクール構想」について</p> <p>(1) 視覚や聴覚など身体に障害をもった児童生徒への対応について</p> <p>① 国の第2次補正予算で、障害のある児童生徒のための入出力支援装置の整備が計上された。そこで現在、支援装置が必要な児童生徒数を伺う。</p> <p>② 必要になったときにすぐに対応できるよう、国の第2次補正予算を活用し、入出力支援装置を整備してはどうか伺う。</p> <p>(2) セキュリティ対策について</p> <p>① 児童生徒に対してのフィルタリングや不正アクセス防止の対策はどのようなになっているか伺う。</p> <p>② 教職員が個人情報を扱う際のルールについて伺う。</p> <p>③ 市としてのガイドラインを策定してはどうか伺う。</p> <p>(3) 教職員に対する支援について</p> <p>① これまでどのような支援を行ってきたか、具体的に伺う。</p> <p>② ICTに不慣れな教職員のサポート体制を伺う。</p> <p>③ ICT支援員を派遣してはどうか伺う。</p> <p>2. コロナ禍における不登校対策について</p> <p>(1) 長期休校後の小中学校の現状を伺う。</p> <p>(2) 長期休校後のいわぬま子どもの心のケアハウス「あいる一む」の現状を伺う。</p> <p>(3) 「あいる一む」にも行けずに、家からもなかなか出られない児童生徒に対して、GIGAスクール構想での端末の活用は、コミュニケーションをとっていきかけとして、非常に大切なことと思う。そこで、端末を活用した支援について、どのように取り組んでいくか伺う。</p> <p>(4) 端末配付で在宅学習に大きな期待が持てるが、それと並行してオンラインによる相談の体制も整えてはどうか伺う。</p> <p>3. コロナ禍における教育環境整備について</p> <p>(1) 児童生徒の感染リスクを減らす対策として、水道の蛇口を非接触型にしてはどうか伺う。</p> | 市 長 教 育 長 |
|---|---|---------|--|--------------|

| | | | | |
|-----|----|------|--|-----|
| (続) | 3 | 高梨明美 | <u>防災訓練について</u> 1. 7月12日に実施した避難所開設訓練の総括を伺う。 2. 今後は12か所の指定避難所で地域住民と連携した防災訓練が必要と思うが、見解を伺う。 3. 夜間の避難所開設訓練を行ってはどうか伺う。 | 市長 |
| 10 | 7 | 高橋光孝 | <u>これからの観光戦略とビジョンについて</u> 1. 持続可能な観光産業について (1) コロナ禍において観光産業は一変し、観光需要は激減している。今こそ持続可能な観光産業の一つとして、名産品の再開発を行ってはどうか伺う。 (2) 事業者支援金も大切ではあるが一時的である。それ以上の売上げを継続して確保できるように、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりとっている事業者等(店舗、イベント主催者など)を市独自で審査し、「しっかりと対策をとっている事業者」としてステッカーなどで表示して認定することにより、利用促進につなげてはどうか伺う。 (3) 当市は、鉄道、空港、国道、高速道路とハードインフラは充実している、観光移動情報、感染症対策の有無、キャッシュレス決済等を一括提供するなどソフトインフラを充実させて、ウィズコロナ時代に向けた対策を行ってはどうか伺う。 (4) マイクロツーリズムに目を向けるべきときになってきている。商店主の人間味や岩沼に住んでいると当たり前風景なども前面に出し、「地域」と「住民」が主役となる観光戦略を行なってはどうか伺う。 2. DMOについて (1) 一般社団法人宮城インバウンドDMOと株式会社インバウンド仙台・松島に年間いくら支出しているのか伺う。 (2) 今まで、各社からどのような提案があり、どのような成果があったか伺う。 (3) 「地域」と「住民」が主役となるような観光資源を掘り起こし、2つのDMOに働きかけるなど、DMOをもっと利用すべきではないかと考えるがどうか伺う。 | 市長 |
| 11 | 14 | 櫻井隆 | <u>公立高校入試問題の出題範囲について</u> 1. 数学の学習の遅れについて (1) 中学校において、新型コロナウイルス感染症の拡大で休校していた期間を伺う。 | 教育長 |

| | | | | |
|-----|-----|-------|--|-----|
| (続) | 1 4 | 櫻 井 隆 | <p>(2) 第3学年の生徒が第2学年の3学期途中で休校になったが、数学の授業は第何章で終了したか伺う。</p> <p>(3) 第2学年時に履修できなかった数学の授業の対応について伺う。</p> <p>(4) 第3学年の数学の授業の開始はいつ頃からか伺う。</p> <p>(5) 県教育委員会は、来春の公立高校入試の出題範囲を縮小すると正式決定した。数学で縮小されるのは第8章「標本調査」であるが、入試前に第7章の「三平方の定理」までの授業を終了するのは困難と判断するが見解を伺う。</p> <p>(6) 宮城県教育委員会の有識者会議において、「自治体ごとに休校の期間が異なるため、3年生の最後の単元を除外するのが最も良い」と判断したようである。現場の先生方と生徒の負担を考慮するならば、第6章の「円」までが精一杯と思うが見解を伺う。</p> <p>2. 英語の学習の遅れについて</p> <p>(1) 第2学年時における英語の授業はUnitのどこで終了したのか伺う。</p> <p>(2) 第2学年時に履修できなかった英語の授業の対応について伺う。</p> <p>(3) 英語については「中学3年間を通して学び、特定の除外が難しいため、縮小しない」とのことだが、「Let's Read」等のUnit以外の部分が除外される可能性があるが、いかがか。</p> <p>(4) 英語授業の進め方について、県教育委員会からどのような指針等があったか伺う。</p> <p>(5) 英語について全て履修するのは、数学と同様に難しいと判断するが、見解を伺う。</p> <p>(6) 市教育委員会として入試の問題範囲の変更を県教育委員会に申し入れてはいかがか。</p> | 教育長 |
| 1 2 | 6 | 菊 地 忍 | <p><u>コロナ禍に対応した職員の勤務形態等について</u></p> <p>新型コロナウイルスが世界各国で猛威を振るう中で、新しい生活様式が求められている。市のホームページにも紹介されているが、先般、週刊誌「AERA（アエラ）」において、「コロナ時代の移住先ランキング」の「後悔しないコロナ移住先」として、岩沼市が北海道・東北地区の1位に選ばれた。</p> <p>住みたい・住み続けたいまちとして、岩沼市の魅力</p> | 市 長 |

| | | | | |
|-----|----|-----|--|----|
| (続) | 6 | 菊地忍 | <p>を今後も発信し続けていく上で、市の業務においても新しい生活様式、新しいビジネス様式に取り組んでいく必要があると思う。</p> <p>1. コロナ禍における職員の働き方について 6月定例会の質問で、「職員の感染対策、勤務形態等について検討を行う」との答弁があった。その後の進展等について伺う。</p> <p>(1) 執務スペースの分散、時差出勤、在宅勤務等の検討結果について伺う。</p> <p>(2) 職員が感染した場合、濃厚接触者を増やさずに行政サービスを維持するためのシフト体制等についてどのように考えているのか伺う。</p> <p>2. RPAの導入に向けた試験結果について伺う。</p> | 市長 |
| | | | <p>福祉・介護分野におけるICTの利用促進について</p> <p>日本は世界各国よりデジタル化の分野で後れを取っており、中でもデジタル化が最も遅れている産業は、「福祉・介護分野」であるとも言われている。</p> <p>介護サービス事業所では、サービスに係る記録や書類の電子化が進んでおらず、また、行政側も指導監査に際し、紙媒体で記録の提出を求めることがあるなど、ICT機器・ソフトウェアの活用による業務効率化が大きな課題となっている。</p> <p>厚生労働省は、2022年度までの介護分野におけるデジタル化の実現を計画していたが、新型コロナウイルス感染症が広まったことにより、計画を2021年に前倒しする意向を打ち出した。</p> <p>1. 近隣市町では、AIを活用した要介護認定支援システムの導入等が進んでいるが、市としては、ICTの利用促進について、今後どのような取組を考えているのか伺う。</p> <p>2. 福祉・介護分野において今後デジタル化で業務効率が上がると思われる業務を伺う。</p> | 市長 |
| 13 | 11 | 須藤功 | <p>朝日山公園荒井堤について</p> <p>1. 市長は、朝日山公園の位置付けをどう考えているのか。</p> <p>(1) 昨年の答弁で「貴重な公園として残していきたい。」や「十分に市民のために活用していきたい。」と述べている。また「国・県の補助があるのであれば」とも言っている。いつまでたっても荒井堤の水質改善には至らないのではないか。</p> | 市長 |

| | | | | |
|-----|-----|------|---|-----------|
| (続) | 1 1 | 須藤 功 | <p>(2) 荒井堤の水質について</p> <p>① 昨年の答弁で「荒井堤の現状については、平成30年2月の施政方針で申し上げたとおり、水質改善が課題と考えている」と回答している。今年の暑い夏の臭いはどうだったか。</p> <p>② 今年は昨年より一段と水質が悪化し、緑や茶色の浮遊物が多くなっている。どう対処するのか。</p> <p>③ 昨年の答弁では、「雨水で池の水質改善を図る。」と答弁された。今年は改善されたか。</p> <p>④ ポンプで池を循環しているが水質浄化になっているか。</p> <p>⑤ 水質悪化を野放しにして「貴重な公園として残したい」「市民のために活用したい」と言っているか。</p> <p>⑥ 知恵とやる気があればできることをやろうとしていないのではないか。</p> | 市長 |
| | | | <p>中学校の部活動について</p> <p>1. 国が行った教員の働き方改革を受けて、岩沼市内の中学校部活動は活動が半減され制約されている。国の働く基準を守ることも一つだが、それによって市内の中学生は犠牲になっていないか。</p> <p>2. 岩沼市内の部活動だけが極端に制約されていないか。他の市町と比較すると活動時間は少ないし、生徒たちのスポーツや文化に対する夢やあこがれを奪っていないか。</p> <p>3. 働き方改革は守ることにし、部活動は週5日確保できるのではないか。例えば一つの部活動を一人の先生ではなく、複数の部活動を一人の先生が一日だけ受け持つことで、働き方改革は守られるのではないか。</p> <p>4. 岩沼は働き方改革を他市町より先駆けて導入し、部活動の時間を制約してきた。他市町村の事例を見ると『部活動指導員』を採用しているところがある。部活動指導員は2017年に制度化されている。市として採用してはどうか。</p> <p>5. 部活動指導員は学校職員の位置付けもあるので「外部指導者」や「外部コーチ」といった方法を取り、市内スポーツ施設の管理を委託している組織などに依頼してはどうか。</p> | 市長 教育長 |

| | | | | |
|-----|-----|---------|---|-----|
| 1 4 | 1 | 大 村 晃 一 | <p>現在の空き家対策と今後の取組について</p> <p>1. 現在の空き家状況について</p> <p>(1) 空き家が全国的に増加傾向にある中で、問題視している自治体もあるが、本市として現在把握している空き家の数はどの程度あるのか伺う。</p> <p>(2) 一言で空き家と言っても様々な形態や状態が考えられるが、どのような方法で調査し、どのような状態を空き家として件数に加えているのか伺う。</p> <p>(3) 空き家と把握している建物等の所有者には、どのような対応を行っているのか伺う。</p> <p>2. 現在の空き家対策について</p> <p>(1) 本市が補助金等の交付を行う形で、岩沼市商工会が窓口となり、岩沼市中心市街地空き店舗活用支援事業を行っているが、今年度の募集に関しては再募集を行っている。そこで近年の募集状況について伺う。</p> <p>(2) 公益社団法人宮城県宅地建物取引業協会と公益社団法人全日本不動産協会宮城県本部の2団体と「空き家等の活用促進に関する協定」を締結し行っている、空き家等の活用に関する相談事業について伺う。</p> <p>① 現在の事業の仕組みについて伺う。</p> <p>② 令和元年8月から事業を開始しているが、現在までに事業を活用した件数を伺う。</p> <p>3. 今後の空き家対策と利活用について</p> <p>(1) 利活用等の知識を専門とし、サポートする団体などと協定を結んで現在の取組の強化を図ってはどうか伺う。</p> <p>(2) 多くの自治体に取り組んでいるように、空き家等対策計画の策定や空き家バンク制度の開設など段階的に準備を行ってはどうか伺う。</p> <p>(3) 各自治会や町内会と連携をして、定期的に空き家等の把握を行ってはどうか伺う。</p> <p>(4) 今後の空き家の抑制と合わせて、地域の活性化を図るために、住教育を取り入れてはどうか伺う。</p> <p>(5) 生活困窮者等を支援、サポートする団体等が空き家等を上手く利用し支援できる仕組みを検討してはどうか伺う。</p> | 市 長 |
| 1 5 | 1 2 | 渡 辺 ふさ子 | <p>女川原発再稼働について</p> <p>1. 今年2月に東北電力女川原発2号機について、原</p> | 市 長 |

| | | | | |
|-----|-----|---------|--|----|
| (続) | 1 2 | 渡 辺 ふさ子 | <p>子力規制委員会は新規制基準に適合すると認めた。6月22日には国の原子力防災会議が避難計画を了承した。村井嘉浩知事は、「まずは住民説明会を開き、市町村長や県議会の意見を聴取する」と述べている。8月に7回開催された県の住民説明会では、再稼働に関しての大きな不安と重大事故を想定した広域避難計画を疑問視する声が続出し、再稼働に合意、賛成との意見はほとんどなかった。市民の安心・安全を守る自治体の役割を果たす立場からの、市長の見解を伺う。</p> <p>(1) 東京電力福島第一原子力発電所(福島第一原発)事故以降の現状について見解を伺う。</p> <p>① 事故から9年6か月過ぎても、福島県では故郷に帰れず、避難生活を続けている人がいまだに約4万人いること、及び汚染水や事故処理、廃炉がなかなか進まないことについて。</p> <p>② 東北電力管内では3.11以降に原発ゼロが続いているが、電力は間に合っており、将来も電力の供給量が需要を上回る見通しについて。</p> <p>③ 政府の補助金や「核のゴミ」処理費用を度外視した上、安全対策費に3,400億円をかけた女川原発2号機の発電コストが18.6円/kwh(大島堅一・龍谷大学教授)。さらにテロ対策に約千億円かかるなど、電力コストが最悪になっていることについて。</p> <p>④ 「核のゴミ」の処理方法がなく、保管に要する費用は天文学的金額と言われ、子々孫々にツケを残すことについて。</p> <p>(2) 再稼働による原発事故の危険性について見解を伺う。</p> <p>① 原子力規制委員会が「合格しても安全ではない」と述べていることについて。</p> <p>② 「女川原子力発電所2号機の安全性に関する検討会」の会合が24回行われ、委員が指摘した重大事故に関わるたくさんの懸念がそのままにされていることについて。</p> <p>ア 沸騰水型原発(福島第一原発と同じ)は炉心損傷事故を起こした後の徐熱が困難であり、新たに代替循環冷却系が導入されることになったが、実機で稼働した実績がないことについて。</p> | 市長 |
|-----|-----|---------|--|----|

| | | | | |
|---|------------|----------------|--|------------|
| <p>(続)</p> | <p>1 2</p> | <p>渡 辺 ふさ子</p> | <p>イ 核納容器損傷事故を防止するという「フィルターベント」は、実績評価がないことが指摘されていることについて。</p> <p>ウ 溶融した核燃料を、格納容器の底部にあらかじめ水を張って受け止める「対策」は水蒸気爆発を招いて、東日本を壊滅させる危険性があると批判されていることについて。</p> <p>(3) 避難計画について見解を伺う。</p> <p>① 原発5キロ圏内の予防的防護措置区域（PAZ）の住民が避難先に到着するのに最長3日弱かかるおそれがあることについて。</p> <p>② UPZ（おおむね30km 圏内）の住民は原則屋内避難で、空間放射線量が20 マイクロシーベルトを超えた場合、県内各地に避難することについて、被ばくを前提にするものといえるのではないか。</p> <p>③ 広域避難計画では、岩沼市が東松島市民の7,902人を受け入れることになっているが、市民とのまちづくり懇談会において、市では避難のための「箱を貸すだけ」と答弁している。具体性、実効性に欠けるのではないか。</p> <p>④ コロナ禍による3密対策の観点から考えれば、「箱」の容積は絶対的に不足であり、東松島市民の受入れは人道的にも不可能ではないか。</p> <p>⑤ 岩沼市は女川原発から80km 圏内にあり、風向きによっては放射性プルームによる被ばくのおそれがある。岩沼市地域防災計画に原発事故による避難計画、対策を作成すべきではないか。</p> <p>4. 村井嘉浩知事からの市長の意見聴取に際しては、市民の安心・安全を守る立場を第一に考え、また、原発再稼働によるデメリットの多さ、子々孫々への未来への希望・倫理感を深く考え、「女川原発再稼働を容認する立場にない」ことを伝えるべきではないか。</p> | <p>市 長</p> |
| <p>少人数学級の実現について</p> <p>1. 新型コロナウイルス感染症対策として全国的に実施した3か月にわたる学校の休業によって、「学校に行けない」「外で遊べない」「勉強が心配」など、子どもたちの不安が強まっていることが、国立成育医療研究センターの「コロナ×こどもアンケート」などで明らかになっている。学校再開後の子どもた</p> | | | <p>市 長 教育長</p> | |

| | | | | |
|------------|------------|----------------|--|--------------------|
| <p>(続)</p> | <p>1 2</p> | <p>渡 辺 ふさ子</p> | <p>ちの不安を受け止める手厚い教育が求められている。</p> <p>こうした状況下にあつて、7月3日には全国知事会など地方三団体が「現在の40人学級では、感染症予防のために児童・生徒間の十分な距離を確保することが困難」として、少人数学級の実現に向け、「教員の確保が是非とも必要」と求めた提言を発表した。さらに文部科学大臣も「少人数の有効性を深掘りしたい」（7月22日衆議院文部科学委員会）と、義務標準法の見直しに前向きな発言をしている。少人数学級の実現に向けて、市内小中学校の教育環境の整備が必要と考えるが、教育長の見解を伺う。</p> <p>2. 全学年で30人学級を実施する場合の各学校の教室数の現況を伺う。（不足数など）</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 岩沼小学校 (2) 岩沼南小学校 (3) 岩沼西小学校 (4) 岩沼玉浦小学校 (5) 岩沼中学校 (6) 岩沼北中学校 (7) 岩沼西中学校 (8) 岩沼玉浦中学校 <p>3. マンモス校状態が長く継続している岩沼西小学校の対策について</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 西地区に小学校が1つでは足りない。学校建設を計画に盛り込むべきではないか。このことについて、平成26年第3回定例会と平成27年第2回定例会で質問している。26年の答弁では、4月現在で1,111人ですが、31年度1,000人を切ると予想しています、という答弁だった。今年度（令和2年）は1,012人で32学級になっている。予想通りにはなっていない。コロナ禍の中で、「今を生きている」子どもたち一人一人を大切に、ソーシャルディスタンスを考慮し、ゆとりのある学びを実現することは待ったなしではないか。 <p>コロナ禍の過程で20人学級を体験した子どもたちも教師もよく分かる、一人一人に目が届く授業を体験し、「20人がいい」との声も届いている。市長の何よりの事業として、西地区に新たな学校建設をすべきではないか。</p> | <p>市 長 教育長</p> |
|------------|------------|----------------|--|--------------------|